

# 列状間伐（搬出間伐）の導入定着推進に向け、 民有林・国有林で民国連携した現地検討会等を実施

檜山森林管理署

## 背景

- ① 路網未整備等により未間伐林分が多い。
- ② 搬出間伐の出来る事業体が少ない。
- ③ 集約化等が進まず間伐コストが高い。

## 将来目標

生産性の向上（コストの削減）や労働安全性の向上等  
地域にあった作業システムを構築。

## 集約化と効率的路網整備の推進



民有林では集約化が進まず効率的な間伐の実施に至らず搬出間伐が出来ない林分が多くあるため、現地検討会を開催し、奥山に位置する国有林での列状間伐箇所を森林作業道を整備し搬出間伐を実施している事例を紹介し意見交換を実施した。

## 効率的な作業システムの普及



列状間伐の普及に向けて、高性能林業機械を使用した列状間伐を実施している民有林（森町）において渡島東部森林室主催で現地検討会を開催。現地では伐倒・造材を行う高性能林業機械（ハーベスタ）による作業を見学し、意見交換を実施した。

## 列状間伐(搬出間伐)の推進



列状間伐の推進に向けて渡島西部地区町有林に列状間伐モデル林（スギ）の設置に向けた現地踏査を実施。スギ高齢林分が多いことを把握した。



低コスト化に向け工程管理システム研修会を檜山地区で開催。

## 成果

低コストな搬出間伐の推進に向けて、集約化による一定の作業量の確保と森林作業道の効率的な配置等の重要性について理解が深まった。

民有林での列状間伐の事例であり、効率的な作業システムによる作業がどんなものか等、列状間伐への理解が深まった。

渡島西部地区市町村・森林組合等関係者もモデル林設置の必要性について理解を得た。

搬出間伐の実施に向けて工程管理の重要性について理解が深まった。

## 今後

列状間伐（搬出間伐）を効率的に行えるよう森林作業道等作設方法の現地検討会の開催。

列状間伐が予定されている個所での間伐設計等の技術支援を実施

集約化、効率的な作業システムや路網整備に向けた勉強会等の開催。

ドローンを活用し列状間伐（前後）撮影し間伐効果等見える化。

渡島西部地区に、列状間伐モデル林を設置。